常盤の翠

志・寛・錄

発 行
令和2年12月24日
鹿児島市立伊敷中学校

二学期を振り返って　慣れても馴れるな

校長　河瀬 雅之

今日で二学期が終わります。大きな行事が相次ぎ、コロナ対応で常に判断を迫られる、緊張感続きの二学期でした。保護者の皆様にも様々な制限を受け入れていただきました。この場を借りてお礼申し上げます。

学校ではその時々の状況に応じた最善の判断をしてきたつもりですが、振り返ってみれば反省すべき点も多々ありました。

体育大会では、入場制限や保護者テントの利用入れ替わり等協力していただき、とてもスムーズに運営する事ができました。結果を見れば、観客数をもう少し増やせたかもしれないと思っています。また、昼休み時間ももう少し長くすれば、保護者の食事時間をしっかり確保できたかもしれません。

文化祭では、プログラムをなるべく学年別に設定し、当該学年以外の発表は教室でオンライン鑑賞するなどの工夫により、屋内で長時間実施する行事に初めて保護者の皆様を案内することができました。一方、展示発表を紹介するタイミングが悪く、一部の保護者の方には見ていただけなかったと後からお聞きし、まだ配慮が足りなかったと反省しています。

修学旅行は、離島を含め県内実施も検討しましたが、安全な宿泊施設の確保や、見学先での混み具合、天候の影響や保護者アンケートの結果など、総合的な見知から、今回の長崎、阿蘇プランに決定したところです。その結果、県外に行くという理由で旅行に参加できない生徒が出てしまったことは、大変申し訳なく思っています。

このように、これまでとは大きく異なる学校運営となりましたが、感染終息の見通しが立たない状況下では、**安全を最優先に考えた対応が今後も求められ続ける**ことになるでしょう。

冬休みを迎えるに当たり、今一度強くお願いしたい事があります。それは、**「新しい生活様式に慣れても馴れるな」ということです。**

「慣れる」の意味は、「経験を重ねてなじむ」こと。また、同じことを繰り返し、やり方に習熟することや、同じものを使うことでしっくりなじむといった意味です。

一方「馴れる」とは動物が人間になついて警戒心を持たなくなることをいいます。**コロナウイルスにかからないための新しい生活様式に慣れても、警戒心を無くしてはいけませんね。**

これから訪れる年末年始の行事、多くの人との接触が予想されます。しかし、これまでと同じ行動という訳にはいかないでしょう。三密を避け手指消毒を徹底するなど身を守る行動をお願いします。

「慣」の字は、心臓の象形と「ものをつらぬく」を表す象形から成っており、「一つのものごとに対し、心の働きを通してなれること」を意味しています。**常に心を通して、考えながら、正しい判断に基づいた行動をとって、三学期にはまた元気な姿を見せてください。**それでは皆さん、よいお年を。来年こそは通常の生活が戻ってきますように！

命の大切さを学ぶ保健教室

各学年で保健教室を実施しました。

１年生は、学校薬剤師を講師にお招きし、喫煙防止教室を実施しました。

末成年者の喫煙が、がんや心臓病のリスクを高めることなど、喫煙による身体への影響を学び、喫煙防止の徹底と、非喫煙者に対する受動喫煙の影響をなくすための環境作りについて考える機会となりました。

２年生は、がんサポートかごしまから講師をお招きし、がん教育を実施しました。

講話を通して、がんについて正しく理解することや命の大切さについて主体的に考えることができました。講話の最後に話された「あなたが生きている今日は誰かが生きたかった今日」と言う言葉が強く印象に残りました。生きていることの奇跡、普通に暮らせることが幸せであることを感じることのできる一日となりました。

３年生は、助産師の方を講師にお招きし、「心と身体の主人公になろう」をテーマに性教育を実施しました。生命の神秘と人間の尊厳に気付き、全ての人の生命がかけがえのないものであることが分かり、お互いを尊重することが大切であることを学びました。

感想では、講師の方が話された「生きているだけで百点満点」の言葉に触れた者も多く、命の大切さを考えるよい機会になったようです。

周りを変える力

１日（火）の全校朝会は、２年生後期総務・副総務によるソシオドラマ「周りを変える力」が発表されました。

時間に対していい加減で、周りにも迷惑をかけいた主人公が、友人や親とのやりとりの中で、「時間を守ることで信頼を得ることができる」「自分で気付き、考え、行動することで周りを変えていける」ことに気付き、今までの自分を省みて、新たな一歩を踏み出していくという内容でした。また、「先輩たちが考え続けてきた伊敷中の伝統には、ちゃんと意味がある」というメッセージも強く訴えていました。見終わった感想を、２年生に聞いてみると、「今の私たちの学年の実情に合ったいい内容だった」と答えていました。

主な行事予定

８日（金）	３学期始業式
１２日（火）	３年卒業テスト
１３日（水）	３年卒業テスト １･２年鹿児島学習定着度調査
１４日（木）	３年卒業テスト １･２年鹿児島学習定着度調査
２１日（木）	１年社会人に学ぶ
２２日（金）	入学説明会

※　新型コロナウイルス感染症対策のため，行事等を変更する可能性があります。変更があった際は，その都度連絡をします。

一年の締めくくりを迎えて

今年一年の世相を表す漢字は「密」でしたが，２位には「禍」という漢字がランクインしていました。むしろこちらの方が一年をうまく表した漢字なのかなと思いながら，この字に関することわざを調べてみると，以外にも「禍をもって活路を開く」ような意味のものが多く見つかりました。

「禍福は糾(あざな)える縄のごとし」
この世の幸と不幸は，より合わせた縄のように常に入れ替わりながら変転するものである。

「禍転じて福と成す」
我が身に起こった災難をうまく活用してかえって幸せになるよう取りはからう事

「禍も三年」
禍でも時がたてば幸いの種になる事がある。

禍を憂(うれ)うだけではなく，その教訓を次に生かすような生き方をすれば，やがて幸福が訪れるという事を多くの先人は感じていたのではないでしょうか。それでは皆さん，よい年をお迎えください。禍転じる一年となりますように。

門松づくり

親父の会をはじめとする保護者の有志で、約１時間半かけ，門松を作っていただきました。

門松は１年間の幸せや健康長寿を願うものと考えられています。来年は今年よりも良い年になるといいですね。

～お知らせ～

○　明日から冬休みに入ります。人の出入りも増えるかと思いますが，ご家庭でも，これまで同様，新型コロナウイルス感染症予防対策(手洗い，マスク　着用，清掃・消毒，換気)の徹底をお願いします。

○　学校では，換気による室温の低下で，生徒が体調を崩さないよう，教室での「ひざ掛け」使用を認めることとしました。必要に応じて使用してください。